

## えりも地区連携型中高一貫環境教育

～えりも中学生百人浜に学ぶ～

平成26年6月、『えりも地区連携型中高一貫環境教育』が開催されました。平成18年度より毎年えりも地区で実施され、えりも緑化事業の歴史と環境問題など地域の特性を理解し、中学校で植樹、高校で育樹作業するなど林業体験による森林づくりに貢献する総合的な学習です。今年度はえりも中学校2年生38名が参加しました。

9日にえりも緑化事業の歴史を学ぶ講演会が実施されました。えりも緑化事業開始から事業に関わっていた飯田さんが講演をする予定でしたが体調不良のため、急遽えりも治山事業所治山技術官が飯田さんに代わり、60年前の緑化事業当初の強風や砂による環境の中での生活や苦労、その上で導き出した手法から現在の森林に蘇るまでの努力などについて話をしました。生徒たちは真剣に話を聴いており、「昔のえりもの人々の努力や苦労を知ることができました」「自分たちでも身近にできる森林への貢献方法がありますか」などたくさんの質疑・感想がありました。

16日には、カミネッコンでの植樹活動を実施しました。ネームプレートをつけ、「えりも高校生になって自分が植えた木の様子を見に来ることが楽しみ」「大きくなってほしい」など植樹を楽しんでいました。

最後に、森林作りには植えるだけでなく今後の育てる活動も大切だと伝えられ、生徒たちは改めて、木を植えて育てる森林作りの大変さと大切さを学べたようです。

この学習を通し、自然環境と森林の繋がりの大切さを学び、多くの地域活動に貢献する気持ちを持ってほしいと思います。



講演会 質疑応答



みんなで植樹